

第3章 地域福祉の課題

第3期地域福祉計画

各調査や座談会で出された意見等に基づき、地域福祉の現状に沿った課題を整理します。

課題1 地域における健康づくりと支援

- ・近年、人口減少が進行する中、高齢者や共働き世帯、知的障がいや精神障がいのある人が増加し、それに伴い福祉サービス施設の利用や預かりサービスの利用希望者も増加し続けているほか、いじめや虐待、周囲の理解不足などの問題も増加しています。
- ・本町では、これまで地域福祉をはじめ、分野ごとに個別計画を策定、推進し、サービスの充実を図ってきましたが、今後は当事者を中心とした健康づくりと手助けも併せて推進していかなければならない状況です。
- ・まずは、すべての町民が自主的な健康づくりに努めることが重要です。そして、福祉支援が必要な人には、本人の状況に合った丁寧な対策を講じていくとともに、地域の中でできる身近な手助けも併せて進めていくことが求められます。

課題2 地域福祉推進のための交流・連携・体制づくり

- ・地域福祉の推進には、町民、団体、事業所、自治会、行政、近隣自治体などが相互に連携することが不可欠です。日頃から、町民同士や関係機関同士が交流することが重要です。
- ・本町では、核家族化が進み、近隣同士の関係の希薄化を危惧する意見が出ているほか、福祉分野に関わる庁内組織の縦割り改善や、町民への情報提供、相談体制の更なる充実、さらには、事業所間での情報共有など、福祉分野に関わる体制の総合的な整備が求められています。
- ・町民同士が日頃からあいさつを交わし、さまざまな交流の機会を増やししながら、福祉意識の醸成を図っていくとともに、各組織・機関の横の連携を整備していく必要があります。

課題3 地域の福祉課題に取り組む人材と団体活動の充実

- ・日頃から町民が抱えている福祉に関する悩みや不安を解決していくためには、地域で活動する社会福祉協議会をはじめ、町民に身近なNPO法人やボランティア団体の存在、さらには子どもの頃から福祉に触れる教育の機会が欠かせません。
- ・本町では、社会福祉協議会をはじめ、地域包括支援センターや、民生委員・児童委員やシルバー人材センターなどのさまざまな団体等が活動していますが、町民の認知度が低いほか、人材不足、プライバシー保護の観点から情報収集が課題となっています。
- ・地域包括ケア推進のためにも、社会福祉協議会の体制を強化し、地域で活動している団体の周知徹底と、教育や講習の機会を通じたボランティア人材の育成、さらにはボランティアをする人と受ける人をつなげる調整役の発掘・育成をしていく必要があります。

課題4 誰もが地域活動に参画できる環境づくり

- ・一億総活躍社会実現に向けた人生100年構想^{※1}のとおり、いくつになっても新しいことにチャレンジする姿勢で定年退職後も地域で働くこと、活動することは、当事者の心身の健康維持にも、地域に貢献する人材確保としても重要な機会となります。
- ・本町では、高齢者、障がいのある人に対する就労の機会や地域活動への参画を推進してきましたが、いまだに十分ではないため、引き続きすべての町民が地域活動に参画できる環境づくりが求められます。
- ・町民と団体、事業所、行政が連携し、適切な人材を適切な取組につなげる機会を創出していく必要があります。

課題5 手助けが必要なすべての人へのはざまのない支援

- ・近年、全国的な大規模災害の発生やインフラの老朽化、生活困窮、家庭内問題の複雑化などによる、福祉課題の多様化・細分化が進行しています。
- ・本町でも第2期計画の基本理念において「安心・安全な暮らしづくり」を掲げて、ソフト面・ハード面での取組を実施してきました。
- ・そのような中、災害発生時に手助けが必要な人、道路交通や施設整備の弊害により一人で外出が困難な人、さまざまな理由で経済的に困窮してしまった人、ごみ屋敷^{※2}の住人、8050問題^{※3}やダブルケア^{※4}に悩んでいる人など、現段階では問題が浮上していませんが、将来、本当に手助けが必要になる可能性が高い人や世帯に対する、はざまのない支援が求められます。

※1 少子高齢化対策として内閣府が掲げた「一億総活躍社会」、若者も高齢者も、女性も男性も、障がいや難病のある方々も、一度失敗を経験した人も、みんなが包摂され活躍できる社会、その本丸である人づくりとして、いくつになっても学び直しができ、新しいことにチャレンジできる社会。人生100年時代を見据えた経済社会のあり方を構想したもの。

※2 家の中や敷地を越えてごみが散乱している家。ひとり暮らしの高齢者や精神疾患者がいる世帯に比較的多くみられ、近年社会問題化。

※3 ひきこもり続けて50歳になった子どもと、その親が80歳になった家庭の問題。

※4 子育てと親や親族の介護が同時期に発生する状態。